

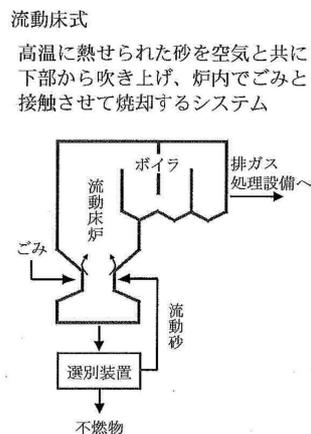
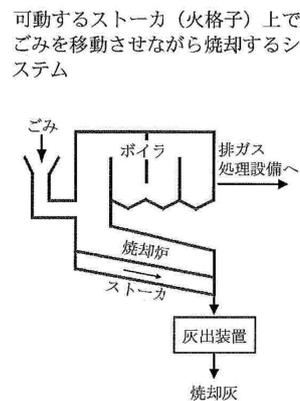
11月6日 総務環境委員会（くれまつ順子議員・西山あさみ副委員長）

老朽化した南陽工場を縮小・建替 五条川工場も灰溶融炉を廃止・改修

11月6日の総務環境委員会で、「南陽工場の処理システム」と「五条川工場の灰出し設備の改修」について説明がありました。

南陽工場の処理システムを変更

1997年に稼働した老朽化した南陽工場は2020年に稼働休止し、既存建屋を活用して設備を更新。焼却能力を現行の1500^t/日から560^t/日（280^t/日×2炉）に縮小し、2026年度に再稼働する予定です。焼却炉はストーカ方式と流動床方式が検討されましたが、既存建



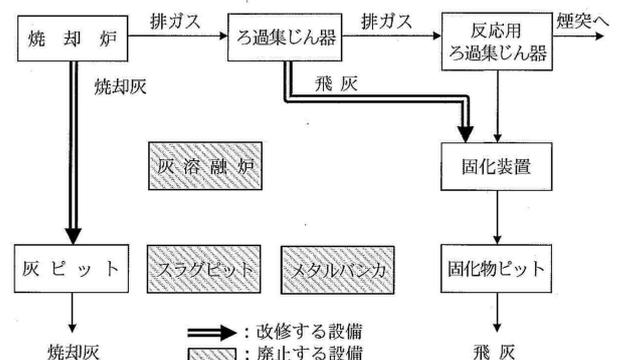
屋に収められるストーカ方式が採用されました。

破碎設備も全市で必要な150^t/日のうち100^t/日の規模を整備するとの説明でした。大江破碎工場は新南陽工場の稼働までは活用するという事でした。

五条川工場の灰出し設備を改修

五条川工場の灰溶融設備を廃止し、焼却灰の灰出し設備を改修し、合わせて老朽化した工場全体の監視制御システムを更新を行うことが説明されました。改修費用は約15億円。2018年度に灰出し設備、2019年度に監視システムの改修を行う予定です。

改修後の五条川工場のシステム



陳情審査 「政務活動費の改善を求める陳情」など3件は「聞きおく」

陳情審査では3件の陳情を審査しました。

議員を市の審議会に委嘱することは見直しを

「市議員を市の審議会等に委嘱・選任しない」ことについて、現状はのべ43人の議員が選任されていることが明らかにされ、日本共産党は「行政実例では違法ではないが適当ではないとの見解が示されている。見直しを」と提案しました。

「政務活動費の改善」については、「会派支給がよい。政党新聞は市政、国政情報もある。政務活動費は多額の税金を使うのでより透明性を高めるよう改善をすすめるべき」との意見を述べました。

「乾電池等の回収」についても現状のシステムが説明されそれぞれ意見を出し合い、3件とも「ききおく」となりました。

陳情審査の結果（2017年11月6日 総務環境委員会）

陳情名	陳情者	陳情項目	結果
名古屋市議員を名古屋市の審議会等に委嘱・選任しないことを求める陳情	天白区住民	1 名古屋市議員を名古屋市の審議会等に委嘱・選任しない	ききおく
政務活動費の改善を求める陳情	天白区住民	1 収支報告書に利息の記載を 2 視察時のお土産代を支出しない 3 議員別に支給する 4 領収書等は氏名を黒塗りせずに公表する 5 視察、調査、研修会、各種会合の報告書を収支報告書に添付する 6 宗教、政党の新聞購読費を支出しない	ききおく
乾電池、小型充電式電池及びボタン電池を各区の区役所、図書館、スポーツセンター等において名古屋市が回収することを求める陳情	緑区住民	1 乾電池、小型充電式電池及びボタン電池を各区の区役所、図書館、スポーツセンター等で市が回収を	ききおく